

## No.11 高圧負荷開閉器(LBS)の更新のお願い

更新推奨年 LBS・PF 15年

### LBSの重要性

LBS(高圧負荷開閉器)とPF(高圧限流ヒューズ)を組み合わせて使用することで過負荷や短絡(ショート)事故が発生した際に、ヒューズが溶断して、事故点を切り離すことができます。

またGR(地絡継電器)と組み合わせることで地絡事故の際もLBSを動作させて事故点を切り離すことができます。LBSは経年劣化により正常に動作しない場合、波及事故の原因になることもあります。



### 計画的な更新で事故を防止

LBS・PFの更新推奨年は15年です。更新推奨時期を超過し使用している場合は、年を重ねるごとに故障するリスクが高くなっていきます。

LBSはPAS、高圧ケーブルの次に事故が多い機器です。設置環境(外観点検)、更新推奨年、停電点検の結果を目安に設備の更新をお願いします。電気主任技術者にご相談のうえ、適切な時期に更新を行ってください。

更新を怠った結果、こんな事故も・・・

### LBS劣化による波及事故

- ・LBS製造年：1986年
- ・事故原因：経年劣化によりLBS負荷側端子部にて絶縁破壊が発生。

PASが設置されており、事業場のみの停電で済みましたが、発生した日が台風接近により協力工事会社が手配できず、復旧まで約1日を要しました。



### PF(高圧限流ヒューズ)の予備について

経年劣化や、小動物が電気設備に侵入し短絡することでヒューズが溶断することがあります。電気設備の復旧を速やかに行うために、予備ヒューズの準備をお願いします。

